



さらなる改革、そして成長へ。  
未来輝く枚方のための「約束」

枚方市長

伏見たかし

- P01-P02 市民の皆さんへのメッセージ
- P03-P06 1期目4年間の挑戦と実績
- P07-P08 枚方市政の今後の展望
- P09-P14 取り組み方針と今後4年間の重点施策

I 魅力で人をつなぐまちづくり

- 1.子育て環境の充実
- 2.教育環境の充実
- 3.魅力ある都市基盤の整備
- 4.産業・観光の活性化

II 安心で人をまもるまちづくり

- 5.安心・安全のまちづくり
- 6.健康・福祉のまちづくり
- 7.多様な生活・社会の課題解決に取り組むまちづくり

III 改革で人を支えるまちづくり

- 8.行財政改革

# < 伏見 たかし から 市民 の 皆 さん へ の メ ッ セ ー ジ >

人口減少、少子高齢化、経済低成長の環境の中で、前例踏襲を継続すれば衰退の道をたどるのみです。

4年前、私は、若い世代の人口流出が顕著となり、枚方市が「選ばれないまち」になりつつあることに危機感を抱き、20年、30年先を見据えた未来志向のまちづくりを皆さんに約束し、当選させていただきました。

以来4年間、私は、改革により財源を生み出し、都市基盤の整備、子育て支援など重点施策を設定し、未来への投資を推進してきました。その結果、転入人口の増加、子育て世代の転入超過の流れを作ることができました。

しかしながら、人口の転出超過の状態を脱するには至っておらず、改革は道半ばであります。

人口増と経済成長がめざすべきゴールではありません。セーフティネット、障害者、高齢者の生活を支える福祉施策、市民の安全を守る防災・防犯施策などを維持、発展させるには、それらを支える「成長につながるサイクル」を確立する必要があります。

さらに踏み込んだ行財政改革を断行し、枚方市駅周辺再整備や安心して子育てのできる環境の充実など、市民のみなさんが実感できる枚方の成長を実現する――こうした決意のもと、「さらなる改革、そして成長」をめざし、ひたむきに全力を尽くす覚悟です。

お力添えいただきますようお願いいたします。

## 伏見隆



### 伏見たかし

昭和43年4月生まれ(51歳)

(枚方市長・大阪維新の会顧問)

うみのほし幼稚園、高陵小学校、第一中学校、寝屋川高校、京都産業大学卒業。商社での会社員生活を経験した後、枚方市議会議員選挙に当選。その後大阪府議会議員を経て、平成27年8月に行われた枚方市長選挙に当選。市長就任後は「豊かで誇りある枚方」の実現のために日々奮闘中。

## 取 組 方 針

### I 魅力で人をつなぐまちづくり

枚方市には、豊かな歴史や文化、自然環境、産業基盤などがあります。また、大阪・京都の中間に位置する有利なロケーションや整備された都市機能など、たくさんの魅力があります。

そうした魅力や優位性を十分に生かしつつ、今住んでいる人たちが「住んでよかった」と感じ、暮らしたり仕事、勉強、趣味を「楽しみたい」「挑戦したい」― そんな夢を持つ人が枚方市に集まってくる―

そうした魅力や特色を創造していくことが、枚方の未来を切り拓くことにつながると考えます。

そのためには、本市の交通・交流の中心である枚方市駅周辺エリアを新しい時代の中心市街地へと再整備していくとともに、文化・観光や、新たな産業を振興すること、そして子育て世代にとって重要な、子育て・教育環境のさらなる充実や、働くことと子育ての両立をしやすい

くするための、きめ細やかな支援の充実、さらにはAIやICT、IoT等を活用した「スマートシティ」の推進が必要です。

そして、こうした都市の魅力向上のための取組の一つひとつ着実に具体化し、見えるように示していくことで、多くの人に「枚方市はさらに良くなった」との変化を感じていただけるようにします。

## 取 組 方 針

### II 安心で人をまもるまちづくり

私たちが今生きている社会には、大規模な災害や犯罪、事故、高齢化に伴う機能障害や病気の増加など、不安を生じさせる様々な問題があります。これらに対するセーフティネットは、市民生活の安定とともに、未来を見据えた都市の魅力向上にもつながる重要な取り組みです。

平成30年に発生した大阪北部地震と風水害は、災害情報の伝達や長期化する避難生活への対応、災害復旧などについて多くの教訓をもたらしました。これらを踏まえ、自助・共助・公助の考えのもと、民と公

が協働し、きめ細やかで切れ目のない防災・減災の取り組みを進めます。

国の調査では令和7年に高齢者の5人に1人が認知症になるとの推計結果もあり、少子高齢化の問題は今後ますます社会に大きな影響をもたらします。高齢者のフレイル\*予防や安全な住環境の形成に取り組むとともに、増大する医療費などの社会保障費を抑えていくため、保健・医療の充実や市内事業所への健康経営の普及等により、若い世代からの生活習慣病予防につなげます。

こうした課題に加えて、年齢・性・国籍・障害の有無などに制約を受けず、住み慣れたまちで安心して暮らし続けることができるよう、多様性を尊重するまちづくりや持続可能なまちづくりをさらに推進し、安心を誰もが実感できる社会の形成に向けて自治体の役割を積極的に果たしていきます。

\*フレイル:加齢による身体機能の低下や気力の低下により、引きこもりがちになるなど、介護状態に至る前の虚弱な状態のこと。病気にかかりやすい、骨折しやすいなどのリスクも高くなる。

## 取 組 方 針

### III 改革で人を支えるまちづくり

子育て支援や学校教育の充実、大規模な都市基盤整備など、様々な未来への投資を進めていくためには、的確な計画の下、新たな技術や民間事業者との連携、既成の枠にとられない業務のさらなる効率化等を進めることが重要です。

こうした中で、行政改革の取り組みにより生み出した財源を「何のために

用いるのか」を示すなど、使途も含めた「見える」行政改革を進めます。また、市役所で働く職員が能力を最大限に発揮し、市民サービスの向上につなげていくため、スマート自治体の実現をめざし、AIやRPA、アウトソーシングなどを組み合わせる組織の進化を図るとともに、ワークライフバランスの確立など働き方改革を推進します。

# <伏見たかし 1期目4年間の挑戦と実績>

平成27年9月の市長就任以来、「豊かで誇りある枚方」の実現に向けて、市政改革を推進し、平成28～29年度の二年間で約49億円\*の改革効果を生み出しました。こうして生み出した財源を、子育て支援や都市基盤整備などに重点的に充て、市民サービスの向上や将来への投資を進めてきました。 ※枚方市新行政改革実施プランに掲げる改革課題の効果額

## 重点施策1「人が集まるまちづくり」

### 1. 安心して楽しく子育てできる環境の充実

#### ■待機児童対策

「めざせ!!通年のゼロ」を目標に、保育所等入所枠の拡大等を進めた結果、平成31年4月時点で待機児童ゼロを実現しました。

<枚方市の待機児童の推移(各年4月1日現在)>

|            | 平成27年  | 平成31年  |
|------------|--------|--------|
| 入所児童数      | 7,151人 | 7,776人 |
| 待機児童数(国定義) | 36人    | 0人     |

- 保育所、幼稚園等における第3子以降の保育料の無料化
- 多子世帯の子ども医療費負担軽減(大阪府内初)
- 新生児の聴覚検査費用に対する助成
- 私立保育園が保育士雇用のために借り上げた住居の家賃への支援

#### ■市立ひらかた子ども発達支援センター開設

すぎの木園と幼児療育園を統合し、障害児・発達上支援の必要な子どもに関する相談・通所・地域支援の拠点として、平成31年4月に開設しました。



- 保育士等就職支援センターの開設
- 北部支所内に子育てに関する相談・支援を行う「すこやか健康相談室」を開設
- 結婚新生活支援、三世代同居・近居に係る住宅リフォーム・購入助成
- 子育て応援アプリ「スマイル☆ひらかたっ子」稼働
- ファミリーサポートセンター事業の無料体験
- 市立幼稚園6園において3年保育並びに土曜日・三季休業中における預かり保育実施(うち4園においては小規模保育を園内に設置)

### 2. 子どもたちの未来への可能性を最大限に伸ばす学校教育の充実

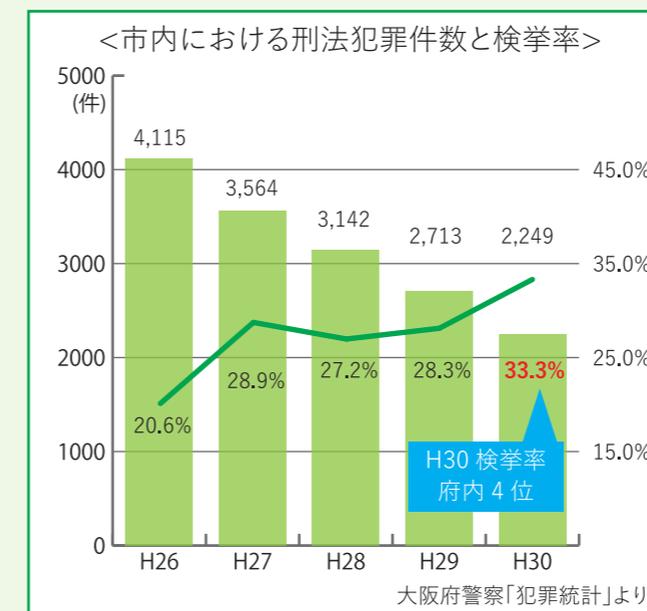
- 全ての小中学校に英語指導員(NET・JTE)を配置
- 中学校での1人1台のタブレットPC配置に向け、モデル学校で試行導入
- 中学2年生を対象に英語外部検定試験を実施
- 全ての中学校区に学校司書を配置し、小中学校における読書活動を推進

### 3. 枚方市駅周辺再整備など都市基盤整備の充実

#### ■枚方市駅周辺再整備

平成30年10月に総合文化芸術センターの建設工事がスタートし、令和3年完成をめざしています。

#### ■防犯カメラの増設(計979台が稼働)



#### ■魅力・利便性の向上

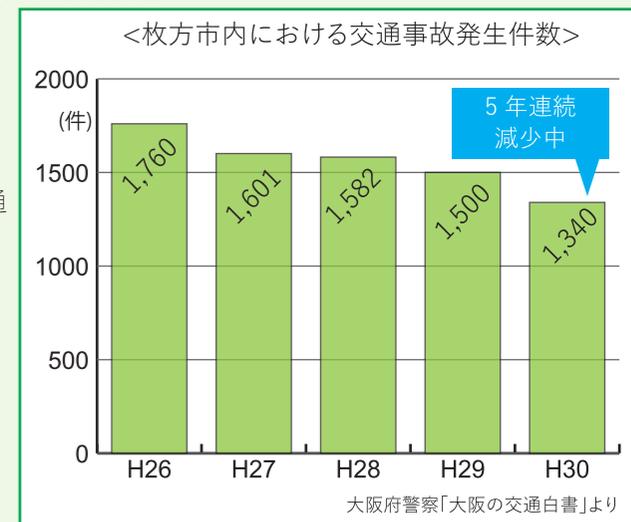
- ・香里ヶ丘図書館のリニューアル(令和2年夏頃完成予定)
- ・京阪電鉄連続立体交差事業(枚方市は用地買収を担当。令和10年度完成予定)

#### ■集中豪雨・浸水対策

- ・溝谷川ポンプ場拡張(平成30年度完成)
- ・新安居川ポンプ場拡張(令和元年度完成予定)
- ・サダ排水区雨水貯留管整備(令和元年度完成予定)
- ・楠葉排水区雨水貯留管整備(令和2年度末完成予定)

#### ■交通渋滞解消・通学路安全対策

- ・牧野長尾線(令和3年度部分完成予定)
- ・長尾杉線(令和5年度完成予定)
- ・御殿山小倉線(令和5年度完成予定。通学路の安全対策は平成30年度実施)



## 重点施策2

# 「高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくり」

### ■高齢者お出かけ推進事業

介護予防のイベントや各種講座への参加で「ひらかたポイント」を付与し、お店での買い物や京阪バスポイントへの交換を可能にしました。

### ■高齢者の居場所づくり



平成29・30年度の2年間で100カ所設置しました。

### ■介護予防・日常生活支援総合事業のサービス拡大

身体機能や意欲の低下が見られる方を対象に、市独自の取り組みとして、リハビリテーション専門職等による訪問指導等を開始しました。

また、身近な地域で継続して介護予防に取り組めるよう「ひらかた元気くらわんか体操」を作成し普及を図るとともに、小学校区などの単位で設立された元気づくり・地域づくり会議との連携・支援を進めました。



## 重点施策3

# 「協働によるまちづくり」



### ■オクトーバーフェストの開催

北大阪商工会議所青年部等と連携し、平成28年度から開催。期間中、2万人を超える人が楽しむ恒例のイベントに成長しました。

### ■枚方市PR大使・ひらかたプロデューサーズ

市制施行70周年を機に、枚方ゆかりの著名人11組を「枚方市PR大使」に任命し、2年間、イベントや出演番組等で市のPRに貢献いただきました。

また、SNS等を通して枚方愛を発信する「ひらかたプロデューサーズ」の登録を開始し、フォークデュオTANEBIさ

んと一緒に「枚方市テーマソングプロジェクト」を進めています。

### ■ネーミングライツの推進

市で初となるネーミングライツ契約により、岡東中央公園の愛称が「ニッペパーク岡東中央」に決定。ネーミングライツ料の支払いとともに、公園設備の充実などの社会貢献もいただきます。

### ■ふるさと納税の促進

平成28年度から返礼品の送付を開始し、平成29年度の寄付総額は約2億8,700万円となりました。

## 重点施策4

# 「将来世代に大きな負担を残さない徹底した市政改革」

## 1. 身を切る改革・開かれた市政

■市長給与を2割カット、退職金をゼロに／特別職の期末手当の減額（効果額：約3,800万円）

■職務・職責に応じたメリハリのある人事・給与制度を構築

■全ての技能労務職員に技能労務職給料表を適用

■職員団体による職員会館の一部使用に対し、適正な使用料の徴収を開始（効果額：約100万円/年）

■外郭団体等の経営健全化

平成29年度に「外郭団体等の経営状況等点検・評価実施方針」を策定し、外部有識者の参画のもと、点検・評価を実施。これに基づき、各団体の活動補助金の見直しを進めました。

平成30年には公益財団法人枚方市文化財研究調査会が解散し、教育委員会事務局において文化財保護等の取り組みを効率的・効果的に推進していくこととしました。また、枚方市街地開発株式会社について、市保有株(1,225万円)を売却するとともに、令和元年6月から市職員の派遣を廃止し経営の独立性を高めました。

## 2. 行政のスリム化・民間活力の活用

■指定管理者制度の導入拡大とサービス向上

平成29年度は鏡伝池緑地(市民の森)、市営テニスコート(藤阪東町・春日)に指定管理者制度を導入しました。

平成30年度は生涯学習市民センターと図書館との複合施設すべて(6カ所)に指定管理者制度を導入。これにより、19時までであった図書館の開館時間を21時へと拡大することができました。また、平成31年度から、指定管理者制度で運営されるスポーツ施設3カ所に利用料金制を導入しました。

■公立保育所の民営化・保育施設の供給体制整備

平成30年度までに民営化した6カ所に加え、平成31年度から走谷保育所を民営化。公立幼稚園や市有施設を活用した小規模保育施設の開設、私立幼稚園から認定こども園への移行等により、私立保育園の定員拡大を含めて平成27年から31年の間で約600人の保育所定員の拡大を実現しました。

## 3. 財政の健全運営

■特別会計・企業会計への一般会計繰出金の抑制

基準外の一般会計繰出金の抑制等により、平成28～29年度で合計約27億円を抑制しました。

■市有財産の有効活用

ネーミングライツを導入した「ニッペパーク岡東中央」については、令和元年度から5年間で1,000万円の収入確保と500万円の公園設備の充実につながる見込みです。

■市税等の収入確保

平成29年に「枚方市債権管理及び回収に関する条例」を制定。

未収金対策の強化により、平成29年度は約4億5千万円の効果額を生みました。また、平成30年度の市税徴収率(現年度分)について、府内自治体でトップクラスの実績(99.7%)となりました。

■来庁者・利用者用駐車場の有料化

平成28年度から市立ひらかた病院・保健センター・市役所庁舎において来庁者・利用者用駐車場の有料化を実施。平成31年度には、スポーツ施設と公園施設の駐車場を有料化しました。効果額は約5,400万円/年。

# 1. 人口減少時代

～「40万都市」は維持できるのか～

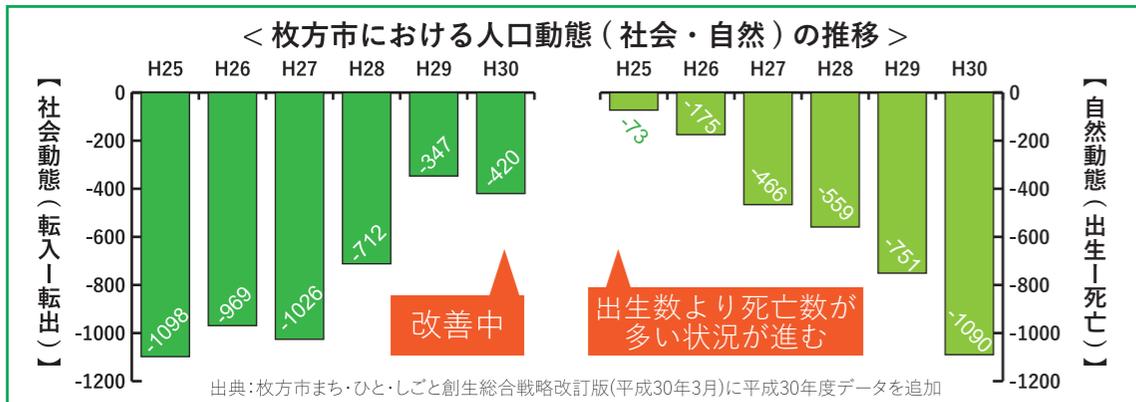
5年ごとに実施される国勢調査の結果を見ますと、大阪府内では、平成22年から27年の間に約25,000人の人口が減少しています。

この間、大阪市では約25,000人の人口が増加しており、大阪市を除いた市町村で差し引き約50,000人の人口減少があった計算となります。府内43市町村ごとの人口増減率を見ますと、上位10市町を除く33市町村がマイナスとなっています。枚方市においても約3,800人の減少となりましたが、それでも人口増減率では14位(▲0.94%)に位置しています。

人口減少の時代は、枚方市の問題でもあり、大

阪府そして国全体の問題でもあります。市町村間で人口争奪戦を続けるよりも、国や大阪府との連携により少子化対策等を進め、未来に希望を持つ社会を築いていくことが重要です。

枚方市では、近年の人口の社会動態(転入・転出)について、平成28年以降、減少幅が小さくなる一方、自然動態(出生・死亡)については、減少幅が拡大しています。人口の安定を図り、若い世代の市民にとって住みよい、魅力あふれる都市へと進化していくことは、枚方市の未来にとって最重要課題であると考えます。



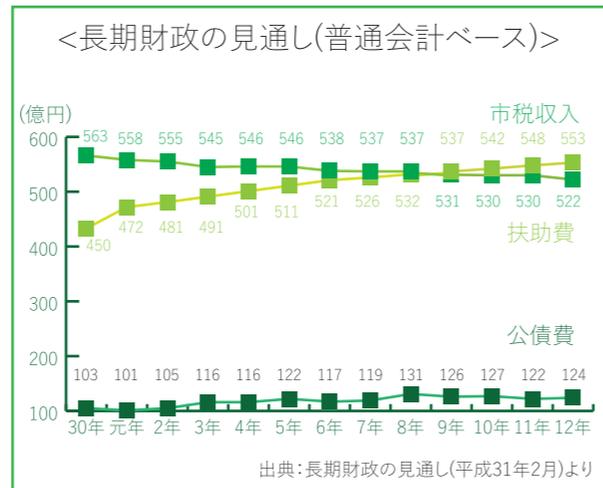
# 枚方市政の今後の展望

## 2. 厳しい長期財政見通し

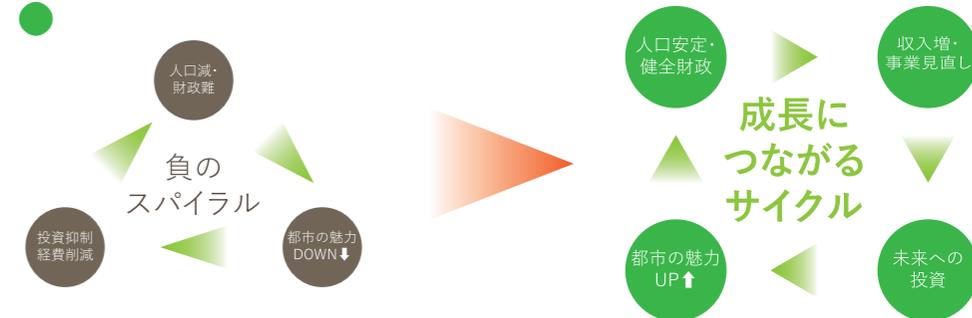
人口減少時代の到来や、少子高齢化の進展による労働力人口の減少により、今後、市税収入が大きく回復することは期待できない状況にあります。

一方、支出面では、様々な扶助(援助)を行うための経費「扶助費」や地方債の償還のための経費「公債費」の増加が予想され、長期財政の見通しは厳しさを増しています。

都市基盤整備などを計画的に進めていくために



# 3. 「成長につながるサイクル」へ



人口減少の時代の中で、枚方市の将来人口について、市の調査では令和7年までに40万人を下回る推計となっています。

「40万都市」という言葉は枚方市を語る上で意義ある数字であり、市民の誇りにもつながっています。

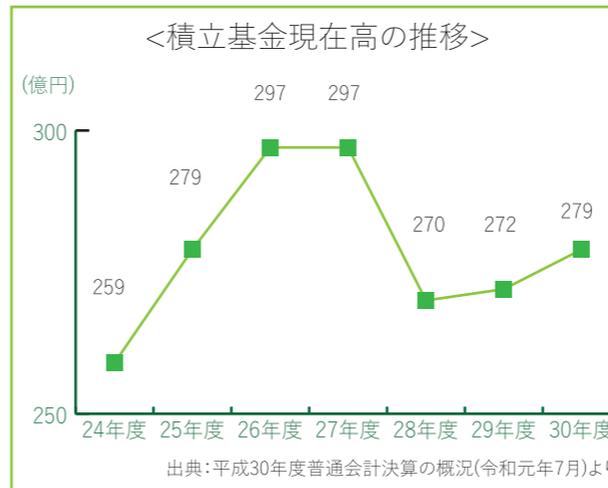
枚方市の人口が40万人を下回る時代がいずれ来るとしても、私は、できる限りの対策を進め、40万人の維持をめざしていく考えです。枚方市では、人口の減少が続く一方、子育て世帯の転入数が転出数を上回る社会増の状況が続くなど、改善の兆しもあります。

私は今後4年間、**「さらなる改革、そして成長へ。」**

を目標として、以下に示す施策に取り組みます。

は、将来の事業費支出のための貯えとして「基金」を積み立てることも必要です。

現在、枚方市では、250億円以上の基金積立額を維持していますが、今後、枚方市駅周辺再整備などの事業を進めていくためには、公債費の推移に留意しながら、財源の確保と経常的な支出の抑制をより一層進めていくことが不可欠です。



今後、人口の社会減を食い止めるためには、都市の魅力さをさらに高め、定住促進を図っていくことが必要です。また人口の自然減に対しては、子育て支援などの取り組みを一層進めていくことが必要です。

税収の落ち込みが見込まれるなど、本市は今後も厳しい財政状況が続く見込みとなっていますが、私は、市政運営のさらなる変革を進め、生み出した財源を市民生活を支える施策や未来への投資に使い、経済活性化や都市の魅力を高めていくという「成長につながるサイクル」を定着させていきます。

未来輝く枚方のために伏見たかしが進めるまちづくり

# 「さらなる改革、そして成長へ。」

私たちは今、大きな時代の曲がり角の中で、まちづくりを進めていかなければなりません。

人口減少・少子高齢化、そして人口急増期に整備した都市インフラが一斉に老朽化する

こうした状況の中で、「成長につながるサイクル」を生み出していく施策を進めていくためには、未来を見据えた明確なビジョンと、それを実現するための大胆な市政改革をやり抜く強い意志が必要です。

伏見たかしは、未来輝く枚方のために、今後4年間、「魅力で人をつなぐまちづくり」「安心で人をまもるまちづくり」「改革で人を支えるまちづくり」の3つの理念を柱とし、8つの分野にわたる51の重点施策に全力で取り組むことを誓います。

|     |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|-----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| I   | 魅力 | で | 人 | を | つ | な | ぐ | ま | ち | づ | く | り |
| II  | 安心 | で | 人 | を | ま | も | る | ま | ち | づ | く | り |
| III | 改革 | で | 人 | を | 支 | え | る | ま | ち | づ | く | り |

## 「魅力で人をつなぐまちづくり」

### 1.子育て環境の充実

**1. 第2子以降の保育料の無償化**  
令和元年10月から3～5歳の子どもの幼稚園・保育所等の保育料が無償となります。子育て世帯のさらなる負担軽減を図るため、令和2年4月から、市独自の措置として第2子以降(0～2歳)の保育料を無償化します。

**2. 待機児童の解消～通年の「ゼロ」へ～**  
潜在的な待機児童を解消するため、幼児教育・保育の無償化による影響など、今後の保育需要を地域ごと、年齢ごとに丁寧に把握し、既存の発想にとらわれない様々な手法で保育所入所定員の拡大を図ります。

新たに小中学校の余裕教室等を活用した「待機児童用保育室」の整備を進め、年度途中の待機児童を解消し、早期に通年の待機児童ゼロを実現します。

また、保育士等の人材不足が課題となる中で、子どもたちにより良い保育を提供し続けることができるよう、処遇改善など様々な対策を進め人材確保に取り組めます。

**3. 留守家庭児童会室の土曜日・夏休み等の開室と放課後の安全な居場所づくり**  
留守家庭児童会室や放課後自習教室、枚方子どもいきいき広場などの既存事業を再編し、民間の活力等を活用しながら、土曜日・夏休み等の開室を含む放課後の安全な居場所を提供します。

**4. 「子どもを守る条例」の制定と総合的な支援体制づくり**  
いじめや虐待など子どもの基本的人権を侵害する行為から子どもたちを守り、健やかに成長できる環境づくりを協働により推進していくため、「(仮称)枚方市子どもを守る条例」を制定します。

また、貧困などを含む複雑な生活環境にある子どもを支援していくため、子育て・健康・福祉・教育・人権など、各行政部門が持つ子どもの情報を共有し、連携による効果的な支援の仕組みづくりを具体化します。

様々な理由で親と暮らすことができない子どもを支えていくため、「里親担当職員」を新たに配置し、里親やファミリーホームのさらなる理解促進と普及を進めます。

### 2.教育環境の充実

**1. 全中学校生徒に一人一台のタブレットPCを導入**  
教職員のICT\*活用指導力の向上や機器導入経費の財源確保などの課題解決に取り組みながら、市立中学校の生徒にタブレット型コンピュータを段階的に導入し、一人一台の配備を実現することで、自ら学ぶ力を育みます。

※ICT:Information and Communication Technologyの略。IT技術を情報・知識の共有等に活用すること。

**2. 中学校給食は全員給食へ**  
選択制でスタートした中学校給食について、生徒の心身の健全な発達を図り食育の生きた教材として活用していく観点も踏まえ、地元への愛着が深まる「枚方版おいしい給食」を生徒全員に提供します。

**3. 学校園トイレの洋式化を完了へ**  
現在進めている学校園トイレの洋式化・ドライ化についてスピードアップを図り、今後4年間で整備を完了します。

**4. 「生きる力」を育む教育**  
小学校において新たに必修化されるプログラミ

ング教育や、外国語活動を円滑に実施し、グローバル社会における「生きる力」を育む教育を推進します。

さらに英語を使ったコミュニケーション能力を育成するため、幼・小・中12年間を見通した英語教育の充実を推進します。あわせて、学校図書館の充実も進めます。

また、いじめ問題については、未然防止の観点も含め、外部人材の活用や通報アプリの導入を進めるとともに、組織対応の強化・徹底を図ります。

**5. 小学校における教科担任制の推進**  
質の高い教育を進めるため、小学校第5・6学年の特定教科や科目で「教科担任制」を推進し、教職員の過重負担の軽減を図ります。

**6. 学校園環境整備と教職員の多忙化対策**  
学校運営に関わる様々な事業・事務について、民間の活力等も活用した包括的な対応を進め、学校園環境のさらなる向上と教員の多忙化解消や働き方改革の実現につなげます。

## 3. 魅力ある都市基盤の整備

### 1. 枚方市駅周辺の再整備

枚方市の玄関口である枚方市駅周辺地区を、宿泊機能や成長性の高い分野における創業支援機能、子どもが楽しめる施設、図書館、長距離バスや観光バスの発着ターミナルなど、枚方市の未来に必要な魅力ある都市機能を備え、安全なまちを支える行政機能を有する新しいまちへと再生するため、国の都市再生緊急整備地域の指定を受け、市駅周辺再整備基本計画・新庁舎整備基本構想を策定し、民間事業者との連携により、見える形で再整備を進めます。

### 2. 総合文化芸術センターの整備と市民文化の発信

引き続き総合文化芸術センターの整備を進めるとともに、開館当初から指定管理者による専門的で効率的・効果的な運営のもと、子どもたちをはじめ様々な市民が文化芸術に触れる機会を作り、賑わいと市民文化の創造の拠点づくりを進めます。

### 3. 京阪本線連続立体交差事業と光善寺駅西地区市街地再開発事業

京阪本線連続立体交差事業について、令和10年度(2028年度)の完成をめざして取り組むとともに、光善寺駅周辺地区の活性化に向けて、設立予定の再開発組合とともにまちづくりを進めます。

### 4. 都市計画道路の整備

第二京阪道路へアクセスする牧野長尾線や長尾杉線、また通学路の安全な歩行空間の確保につながる御殿山小倉線や中振交野線の整備を計画的に推進します。

### 5. 市北部地域の交通環境整備

市北部地域では、令和5年度の開通が予定される新名神高速道路やそのアクセス道路となる府道内里高野道線等の整備が予定されています。開通後の交通状況を調査し、渋滞対策等の検討を進めます。あわせて、新名神高速道路のスマートIC(スマートインターチェンジ)について、周辺の住環境や交通量等に関する調査を実施し、課題を検証します。また、樟葉駅前広場ロータリーにおける

渋滞解消と安全性確保のため、一般車両とバス・タクシー乗り場の分離を図るための再整備に取り組みます。

### 6. 淀川渡河橋の整備促進

大阪府において令和2年度より事業着手が予定されている淀川渡河橋(府道牧野高槻線)の整備について、早期完成に向けた働きかけを進めるとともに、周辺自治体との連携により、広域的な交通量の変化などに対応した道路ネットワークの整備を進めます。

### 7. 香里ヶ丘図書館のリニューアル

令和2年にリニューアルオープンする予定の香里ヶ丘図書館と香里ヶ丘中央公園との一体的な利活用を進め、アウトドアライブラリーや読書カフェを開催するなど、香里ヶ丘地区のさらなる魅力向上につなげます。

### 8. 王仁公園の再生

民間の活力等を活用し、老朽化が進むプールの存廃も含めた再生プロジェクトの検討を進めます。

## 4. 産業・観光の活性化

### 1. ホテルの誘致と大阪・関西万博によるインバウンド増加を枚方の観光へ

大阪・関西万博の開催によるインバウンドのさらなる増加が見込まれる中で、ホテルの誘致を進めるとともに、大阪府や近隣自治体等との連携により、淀川や七夕、歴史文化資源を生かしたイベントや観光メニューの創出に取り組みます。また、観光や地域の活性化・賑わいを促進するため、人が集まるエリアにWi-Fi(公衆無線LAN)環境を整備します。

### 2. NICTと市内企業との連携で新産業創出

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)との協定に基づき、ビッグデータを活用した新産業の創出のための研究を進めるとともに、市内の先端企業の取り組みなど枚方のものづくりの「今」「未来」を積極的に発信し、ブランド化を推進します。また、最先端の技術を持つ事業者

の起業支援や誘致のため、大阪府と協力して規制緩和を進め、IoT\*によるバスの自動運転など新たな技術を研究・実験できる環境を作ります。

\*IoT: internet of thingsの略。あらゆる「モノ」がインターネットとつながる仕組みのこと。

### 3. ベンチャー創業支援

枚方市駅周辺再整備において、新規の創業や既存企業の新規ビジネス創業への支援を進めていくことを視野に、事業者・研究者・学生等が様々な分野で交流・コラボレーションを行っていく環境づくりを進めます。

### 4. 「農」を生かした産業の活性化

穂谷地区において、田畑・里山・古民家を活用した農業体験施設の開設を支援し、里山の風景と文化の継承につなげます。また、商工業者との連携により特産物を創出し、6次産業化を進めます。

## 5. 安心・安全のまちづくり

### 1. 総合的な防災対策の強化

大阪北部地震等の災害の教訓を生かし、地域防災計画の見直しを進めるとともに、事業者・関係団体との災害時応援・連携協定の締結や、ドローンを活用した情報収集の充実等を進めます。

### 2. 枚方版防災アプリの導入

避難経路や気象情報、避難所の開設状況などの情報を誰もが入手でき、安否確認など災害時コミュニケーションも可能な防災アプリを導入します。また、既存アプリを活用し道路の被害情報などを通報できるようにするなど、情報の提供・収集のためのツールの充実を図ります。

### 3. 避難所の機能強化・避難生活環境の改善

夜間の避難行動の安全性を向上するため、避難所への動線にソーラー照明を設置します。災害情報を避難者が迅速に共有し、また長期化する避難生活の環境を改善するため、避難所への空調設備やテレビ受信設備の導入を進めます。

また、避難生活の長期化に対応できるように、避難所のバリアフリーやプライバシー対策、非常用食料品など防災備蓄品の充実に取り組みます。

### 4. 既存住宅の耐震化への支援

木造住宅の耐震化を一層進めていくため、既存の耐震改修補助制度等の検証を進め、普及策や制度を見直します。

### 5. 通学路等の安全対策の強化・防犯カメラの増設

通学路を中心に市内に約100カ所で稼働している防犯カメラについて、地域団体や警察との協議を重ねながら、さらなる増設など防犯対策を強化します。また、全国各地で歩行者が巻き込まれる事故等が発生する中で、交差点改良等を進めるとともに、地域・ボランティア等との連携による子どもの見守り活動の充実を図ります。

### 6. 高齢運転者の事故防止対策

運転免許証の自主返納を促すとともに、生活にマイカーが必要な高齢運転者の事故防止のため、後付けの急発進防止

装置の購入費用を助成する制度を創設します。

### 7. 浸水対策の強化

集中豪雨などが相次ぐ中、楠葉排水区における雨水貯留施設の整備等を進めるとともに、ポンプ場の排水能力向上や雨水管渠・水路の整備に取り組みます。

### 8. 上下水道施設の耐震化・長寿命化

中宮浄水場や配水場など水道施設の更新及び耐震化を進めるとともに、汚水管渠やポンプ場設備の改築・改修を進め、長寿命化を図ります。



## 6. 健康・福祉のまちづくり

### 1. 高齢者の居場所づくりと外出支援

高齢者の居場所づくりの支援を進めるとともに、未設置となっている校区での開設を支援します。  
また、高齢者を対象とするイベントや各種講座で「ひらかたポイント」を付与し、買い物やバス利用での普及を図ることで、高齢者の外出支援、介護予防や健康増進につなげていきます。

### 2. 健康寿命の延伸と終活支援

健康寿命の延伸に向けて、生活習慣病予防のための特定健康診査や、がん検診について、民間のノウハウ等を生かした受診率向上の取り組みを進めます。また、関係団体と連携しエンディングノートの普及を進めます。

### 3. 健康経営\*の市内事業所への普及

従業員の健康に配慮した経営を進め生産性の向上などの好循環を生む「健康経営」について、市役所が率先して実践し、市内事業所への普及を進めます。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標

### 4. 健康づくりの地域拠点整備

母子保健・成人保健・介護予防等の取り組みについて、家庭訪問や健康講座などきめ細やかな事業を地域展開できるよう、北部支所内に設置した「北部リーフ」に続く、すこやか健康相談室を段階的に設置します。あわせて、保健センターと保健所の再編を進めます。

### 5. 重度障害者の入院支援

より多くの重度障害者が安心

して入院生活を送ることができるよう、日頃から接している障害福祉サービス事業者を入院先に派遣する「重度障害者入院時コミュニケーション支援事業」について、対象を拡充します。

### 6. 手話言語条例の制定

手話による自由なコミュニケーションが保障される社会を実現するため、手話言語条例を制定し、市民・事業者とともに手話が使用できる環境の整備を進めます。

### 7. 受動喫煙の防止と禁煙を希望する喫煙者へのサポート

受動喫煙防止法に基づく対策を進めるとともに、喫煙者自身の健康寿命の延伸を図る観点から、禁煙外来や保健指導への参加促進等の取り組みを通じて、喫煙者への禁煙サポートを進めます。

## 7. 多様な生活・社会の課題解決に取り組むまちづくり

### 1. SDGsの推進

国連で採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」に掲げる17の目標を実現していくため、「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において地方創生SDGsの推進を盛り込み、人権・女性活躍・健康・環境など様々な施策において取り組みを推進します。

### 2. 要援護者等への総合的な支援体制のづくり

疾病や障害、介護、出産・子育て、雇用・生活困窮をはじめ、近年の8050問題(ひきこもり)や老老介護、ひとり親育児など、様々な課題を抱える個人や世帯が「社会的孤立」や公的支援の「制度の狭間」に陥ることがないように、総合的・複合的に対応できる「ワンストップ

連携強化型の相談窓口」を開設し、専門職員を配置します。

### 3. 新婚・三世帯同居支援などの充実

結婚新生活支援事業補助金、三世帯家族・定住促進補助金について、事業効果を検証し、より効果的な支援を行います。

### 4. 空家・空地対策の充実

空家・空地の活用に向けて、利用希望者への情報提供や相談会の開催等に加え、新たな補助制度の創設など支援策の充実を図ることで、子育て世帯の定住促進や起業支援につなげます。

### 5. ごみ減量とマイクロプラスチックによる海洋汚染の防止

枚方市と京田辺市との可燃ごみ広域処理の実現に向けて、さらなるごみの減量が必要です。市民・事業者と連携し、可燃ごみの減量や資源化をさらに進めるとともに、マイクロプラスチックによる海洋

汚染の防止のため、使い捨てプラスチックの使用を抑制していく取り組みを進めます。



## 8. 行財政改革

### 1. 身を切る改革

1期目に引き続き、市長給与20%カットと退職金の不支給、特別職の期末手当の減額等を行うことで、改革へのより強い決意を示します。

### 2. 総人件費5%の削減

民間委託の推進やAI・ICT等を活用したスマート自治体の推進、働き方改革など、効率的・効果的な行政運営への転換を進めることにより、総人件費約200億円の5%を削減目標とする取り組みを進めます。

### 3. 「見える」行政改革の推進

スマート自治体の推進や選択と集中の強化、財源確保等を進めるため、新たな行政改革実施プランを策定し、今後の行政改革の方向性を明らかにするとともに、財源など改革によって生まれた効果やその活用を「見える」形で示します。

### 4. 電子申請の導入

申請手続の利便性向上のため、国における行政事務システムの標準化等の動向を踏まえ、添付書類の見直しやキャッシュレス化を進めるとともに、総合アプリを用いた汎用的な電子申請システムを導入します。

### 5. スマート自治体とスマートシティの推進

労働力人口の減少を見据え、AI\*による業務の自動化やRPA\*、アウトソーシングにより効率的な行政運営へと転換を図り、「スマート自治体」を推進します。また、こうした取り組みを市役所の健康経営や働き方改革につなげていきます。防災・交通・健康など様々な分野でAIやICT・IoTを効果的に活用し、持続可能な発展をめざす都市「スマートシティ」を推進していくため、戦略から運用までを一元的に統括する推進組織を設置します。

※AI: artificial intelligence略。人工知能が言葉や画像データ等を用いて分析・判断を行うこと

※RPA: robotic process automationの略。事務処理など効率化・自動化の取組

### 6. 指定管理者制度の導入拡大

香里ヶ丘図書館とみどりの広場、総合文化芸術センターなど、今後開設する公共施設において、指定管理者を公募し魅力ある運営の実現につなげます。

### 7. 公立保育所の民営化

渚保育所と渚西保育所を令和3年度に民営化し、新園舎を整備・統合した上で保育所定員の拡大を図ります。また、効率的に子育て支援の充実を図るため、年1カ所程度を目標に、丁寧に公立保育所4園の民営化を進めます。

### 8. 効率的・効果的なごみ収集処理

一般ごみの収集業務の民間委託を拡大し、令和6年度までに委託率8割の実現をめざします。また、東部清掃工場の灰溶融炉を廃止するなど、効率的・効果的な処理体制の構築を進めます。また、事業系ごみ排出者による主体的なごみ減量を促進する観点から、減量指導を推進強化するとともに、事業系ごみ手数料の見直しを実施します。

### 9. 外郭団体等への支援のあり方の見直し

外郭団体等のさらなる経営健全化を促進するとともに、社会情勢や市民のニーズ等を踏まえ、設立趣旨や今日における必要性の観点から、行政の支援のあり方について見直しを行います。

# さらなる改革、 そして成長へ。

未来輝く  
枚方のための  
「約束」